

第 109 回 東葛研修会

自然観察会初めの一歩 in 岡発戸・都部の谷津

鈴木俊二（柏市）

開催日：2024 年 9 月 14 日（土）9：30～13：30

場 所：岡発戸・都部の谷津（我孫子市）

講 師：鈴木俊二、阿部聰子

参加者：中川、永井、大木、鈴木護、小島、鈴木と、木村、高橋、山口、渋谷、

サブ講師兼任：吉田尚子、小林孝夫

12 名

新会員向け研修会とベテラン指導員との交流という趣旨で会を開催。ポイントは観察したものの中より感を優先、解説より関連性、どのような情報を参加者に伝えたいか？自分が持っている内容の中で一番大切な部分は何か？ 参加者にとって大切なこと・分かりやすいこと；自分にとって大切なこと・分かりやすいことを客観的に見分け、自分の癖を知り、無理な計画を立てるな、必ず練習をする。以上をふまえて始まりました。

予想以上に谷津の秋植物が多く観察され（ツルボ・ツリガネニンジン・サクラダテ・タヌスピトハギ・スズメウリ・センニンソウ・タカサブロウ・アキノノゲシ・・・）、各ポイントで参考になるような説明方法の多種な見本を披露することができました。
①普通の説明、②ポスター・パネル・ボードの利用、③導入のワニのおもちゃ、トンボの飛翔・オオスズメバチの模型を用いて、④本物を見せる（カヤネズミ。アオダイショウの抜け殻）⑤トンボ・蝶を観察用ケースに入れて観察、⑥機器の利用（QRコードでカエルの鳴き）、⑦植物を採集して虫眼鏡等で観察（タカサブロウのツユと種・アキノノゲシの蕾の色・ヌルデノの虫こぶ）、⑧活動報告（保全活動&アカガエル卵塊の年度推移、年間の野鳥調査、⑨クイズ形式によるホタル調査報告、⑩質問形式による説明。

昼食後、振り返りと交流を実施

- ・クズの花の蜜をなめて甘さ、香りを体験した
 - ・沢山の秋の野草が見られた、
 - ・トンボの模型による説明は良かった。
 - ・ボランティア活動についてはどこも苦労があり多くの話で盛り上り、交流がなされた。
- 担当者としてはこちらの意図した多種ポイントの見本にはあたりまえすぎて興味がないように思われた。

